

製品名: HBO1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11917**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	75kDa

抗原情報

遺伝子名	KAT7 KAT7; HBO1; HBOa; MYST2; Histone acetyltransferase KAT7; Histone acetyltransferase binding to ORC1; Lysine acetyltransferase 7; MOZ; YBF2/SAS3, SAS2 and TIP60 protein 2; MYST-2
別名	
遺伝子 ID	11143.0
SwissProt ID	O95251
免疫原	抗血清はヒト MYST2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 131-180

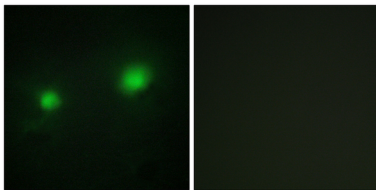
背景

触媒活性: アセチル CoA + ヒストン = CoA + アセチルヒストン。 ,ドメイン: C2HC 型ジンクフィンガーは、MCM2 および ORC1L との相互作用に必須である。 ,ドメイン: N 末端は転写抑制に関与し、C 末端は AR との相互作用を媒介する。 ,機能: HBO1 複合体の構成要素であり、ヒストン H4 特異的アセチルトランスフェラーゼ活性、ヒストン H3 に対する活性低下を有し、生体内におけるヒストン H4 のアセチル化の大部分を担う。クロマチンアセチル化を介して DNA 複製を制御し、TP53 依存性転写のコアクチベーターとして作用する可能性がある。 AR を介した転写を特異的に抑制します。 ,PTM:DNA 損傷時にリン酸化されます (おそらく ATM または ATR による) 。 ,類似性:MYST (SAS/MOZ) ファミリーに属します。 ,類似性:1つの C2HC 型ジンクフィンガーを含みます。 ,サブユニット:少なくとも ING4 または ING5、MYTS2/HBO1、EAF6、および PHF15、PHF16、PHF17 のいずれか 1 つで構成される HBO1 複合体の構成要素です。MCM2 および ORC1L と相互作用します。ジヒドロテストステロン存在下でアンドロゲン受容体 (AR) と相互作用する。 ,組織特異性: 普遍的に発現し、精巣で最も高レベルである。 ,触媒活性: アセチル CoA + ヒストン = CoA + アセチルヒストン。 ,ドメイン: C2HC 型ジンクフィンガーは、MCM2 および ORC1L との相互作用に必要である。 ,ドメイン: N 末端は転写抑制に関与し、C 末端は AR との相互作用を媒介する。 ,機能: ヒストン H4 特異的アセチルトランスフェラーゼ活性、ヒストン H3 に対する活性低下を有し、生体内でのヒストン H4 アセチル化の大部分を担う HBO1 複合体の構成要素である。クロマチンアセチル化を介して DNA 複製を制御し、TP53 依存性転写のコアクチベーターとして作用する。 AR を介した転写を特異的に抑制する。 ,PTM: DNA 損傷時にリン酸化される。おそらく ATM または ATR による。 ,類似性: MYST (SAS/MOZ) ファミリーに属する。 ,類似性: C2HC 型ジンクフィンガーを 1 つ含む。 ,サブユニット: 少なくとも ING4 または ING5、MYTS2/HBO1、EAF6、および PHF15、PHF16、PHF17 のいずれか 1 つから構成される HBO1 複合体の構成要素。MCM2 および ORC1L と相互作用する。ジヒドロテストステロン存在下でアンドロゲン受容体 (AR) と相互作用する。 ,組織特異性: 普遍的に発現し、精巣で最も多く発現する。 ,

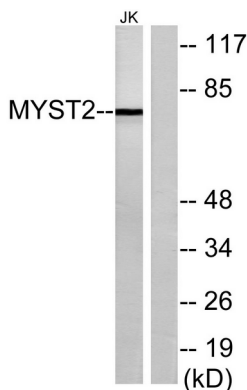
研究分野

タンパク質アセチル化

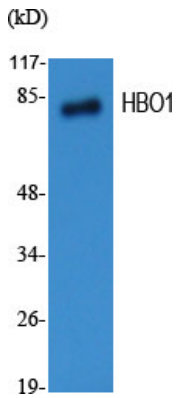
画像データ



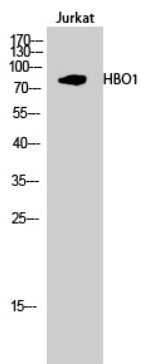
MYST2 抗体を用いた HUVEC 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした画像です。



MYST2 抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



1: 2000 に希釈した HBO1 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウエスタンブロット分析。



1: 2000 に希釈した HBO1 ポリクローナル抗体を使用した Jurkat 細胞のウエスタンブロット分析。